

熊本市における路面電車・L R Tに関する取り組み

～走行環境等の整備状況とL R Tサミットのご案内～

熊本市 都市建設局 交通政策総室

1. 走行環境等の整備状況について

(1) 熊本市の路面電車の概況

熊本市の路面電車の営業キロは 12.1km であり、運行系統数は2系統です。年間利用者は平成22年度で年間約9,537千人(対前年度比3.2%の増)であり、路面電車に係る利用促進策等様々な取り組みにより、微増傾向にあります。

表1. 業務の概況※

区分	電車
営業キロ(km)	12.092
運行系統(本)	2
車両数(両)	52
年間走行キロ(km)	1,847,699

平成23年3月31日現在

表2. 路面電車の営業成績※

区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
乗車人員 (千人)	9,053	9,135	9,568	9,241	9,537
乗車料収入 (百万円)	1,108	1,105	1,133	1,090	1,127

※熊本市交通局ホームページより(一部抜粋)

(2) L R V (低床車両) の導入

熊本市では、平成9年8月に日本で最初の低床車両1編成の運行を開始しました。その後、平成11・13・21年に2編成ずつ導入し、現在7編成を保有しています。LRVの運行間隔は、常時6編成で運転し、15～20分間隔で運行しています。今後は平成25年度に新たにLRVを導入する予定です。



写真 平成21年に導入した0800型

(3) 九州新幹線開業に合わせた路面電車の走行環境等の整備

平成23年3月12日に九州新幹線が全線開業しました。熊本駅には1日当たり134便が停車し、新幹線利用者は1日平均で1万3千人を超えています。新幹線開業に合わせて、熊本市では路面電車の走行環境等の整備を進めました。この取り組みが評価され、平成23年10月14日に「鉄道の日」実行委員会(会長:中村英夫東京都市大学学長)より『第10回「日本鉄道賞」路面電車活性化賞』を受賞しました。

第10回「日本鉄道賞」 路面電車活性化賞を受賞



平成23年10月14日受賞

軌道敷のサイドリザーベーション化

乗り降りしやすく、軌道緑化で走行音も低減



JR新水前寺駅との結節

路面電車優先信号システム



駅と中心市街地間の
所要時間短縮

運行系統名称の変更と色分け

JR新水前寺駅と直結
乗換え利便性が大幅に向上

2号系統

3号系統



A系統

B系統



軌道敷のサイドリザベーション化

平成22年4月
新軌道にて運行開始



平成16年

着手前 (ホテルニューオータニから平成16年撮影)



平成22年

サイドリザベーション後 (平成22年4月16日)



▲軌道敷緑化の様子
(上空からの写真)



平成23年

▲熊本駅前の写真(熊本駅から田崎橋方面を臨む)

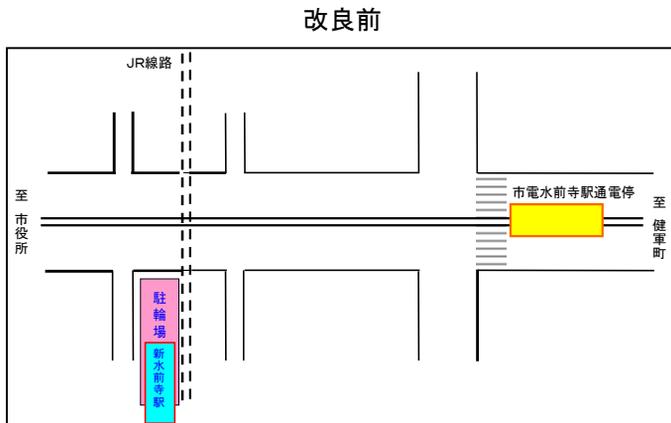


以前、道路中央部にあった軌道を片方の歩道に寄せることにより、路面電車の利用者が歩道から直接乗降できるように改善され、安全性と利便性が向上しました。また、サイドリザベーション区間のうち、交差点部等を除く約400mについて軌道敷を緑化しました。

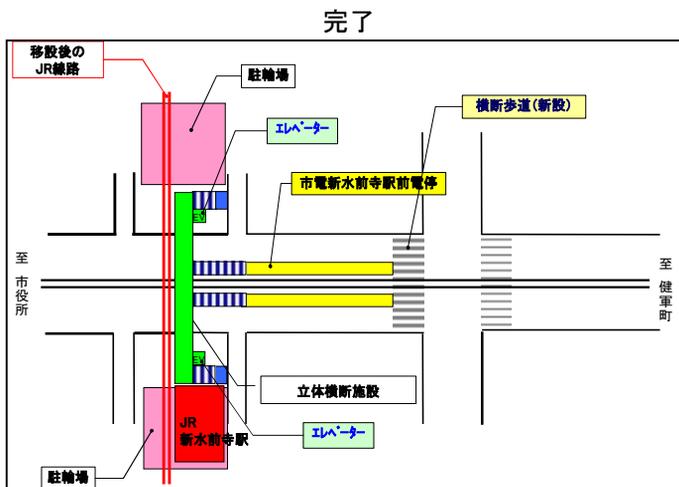
JR新水前寺駅との結節

平成23年
供用開始

改良前：(JR新水前寺駅と市電電停が約100m離れていた)

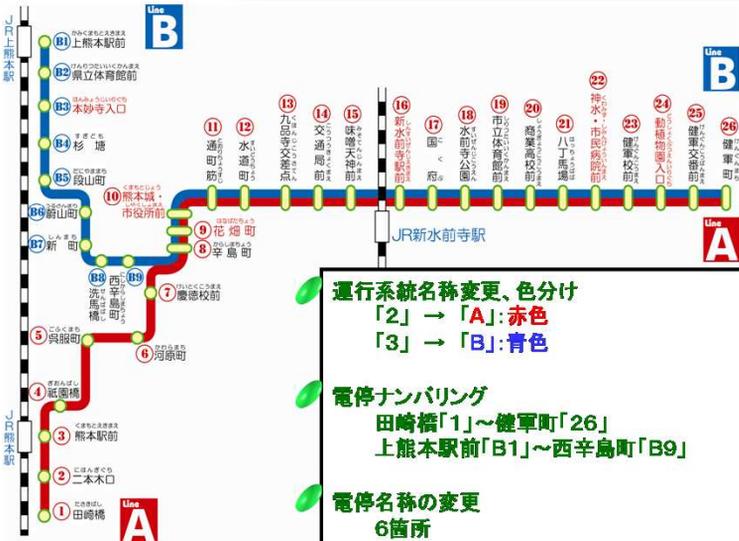


平成23年4月に電停部完成。9月に立体横断施設完成。



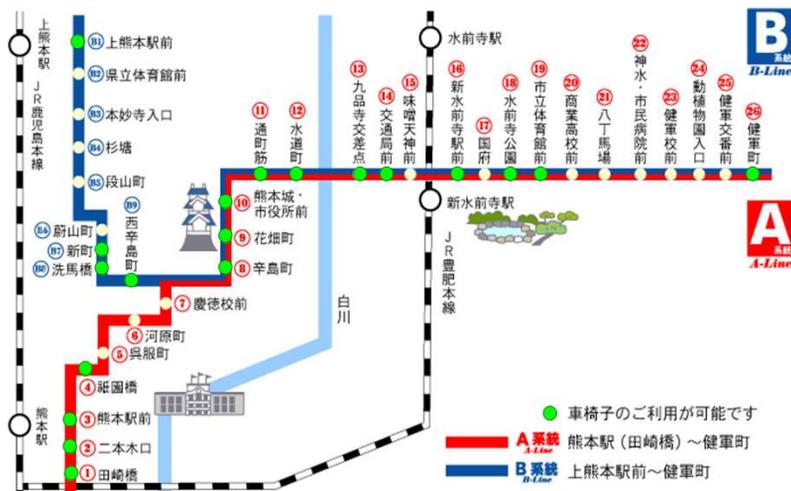
運行系統名称の変更と色分け

平成23年3月
運用開始



電停改良整備事業

全電停35箇所の内、現在16箇所で車椅子でのご利用ができない状況です。このため熊本市では、電停改良整備計画を策定し、車椅子の利用環境整備も含めて電停のバリアフリー化を進めています。

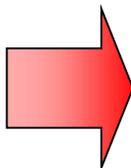


※車椅子でのご利用が可能な電停:19電停
 ⇒ホームの有効幅員が1.0m以上で車椅子でのご利用が可能な電停を指します。

※バリアフリー化済み電停:6電停
 ⇒上熊本駅前、熊本駅前、二本木口、田崎橋、新水前寺駅前、九品寺交差点(健軍町については、上り電停のみ改良済みです。)

※車椅子でのご利用が可能な電停におきましても、バリアフリー新法の基準(有効幅員W=1.5m以上など)に適合する電停は6箇所のみです。

平成23年度は、九品寺交差点電停のバリアフリー化を実施しました。



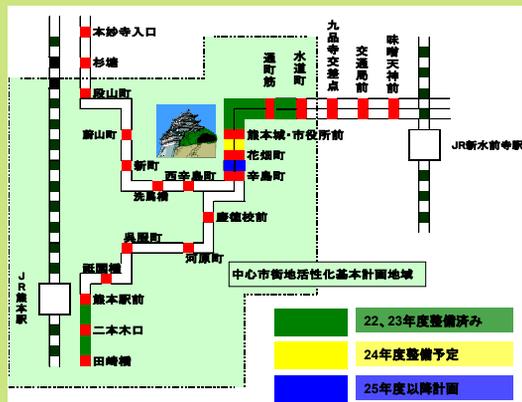
市電 緑のじゅうたん事業

事業中

<事業目的>

「見て、触れて、豊かさを体感できる水と緑の空間作り」

- ・街なかに新たな緑化スペースを創出
- ・都市景観の向上
- ・熊本を訪れる観光客へのアピールなど
- ・電停の温度抑制や騒音低減



2. LRT都市サミット熊本2012の開催（ご案内）

近年、日本国内でLRT（次世代型路面電車システム）への関心は高まっており、既存の路面電車のLRT化や都市の新しい公共交通機関としてのLRTの新設・延伸が各地で検討されています。このような中、路面電車のLRT化に取り組む都市の市長が一堂に会して議論を深め、一層の都市間の連携推進とLRTの充実強化を図り、全国にその活動と成果を発信するLRT都市サミットが今年の10月に熊本市で開催されます。これまで2009年に広島市で第1回目が、2011年に富山市にて第2回目が開催され、今回で第3回目になります。このサミットを通じて、今後の社会構造の変化を踏まえた公共交通のあり方やLRTの位置づけについて考え、公共交通の確保・維持・改善につながればと思います。ぜひ熊本へお越しください。

LRT都市サミット熊本2012の開催概要（案）

LRT都市サミット熊本2012は、「超高齢社会を見据えた公共交通のあり方とLRTの位置づけ」をテーマに、各都市の取り組みを踏まえた市長による会議やパネルディスカッションをメインに展開する予定です。

■ 開催時期

平成24年10月5日（金曜日）及び10月6日（土曜日）の2日間

■ 開催場所

くまもと森都心プラザ 5F プラザホール（熊本市西区春日1丁目14番1号）

URL：<http://stsplaza.jp/>

■ 参加予定都市（8月29日現在）

富山市、高岡市、豊橋市、岡山市、広島市、高知市、鹿児島市、熊本市

■ 主催者等

<主催者>

熊本市

<後援予定者>

国土交通省、熊本県、路面公共交通研究会、全国路面軌道連絡協議会、
社団法人日本交通計画協会

<協力予定団体>

NPO法人くまもとLRT市民研究会

■ 参加について

【参加方法】自由参加（ただし、1日目、2日目共に先着300名）

【参加費】無料

■ 10月5日（金曜日）のイベント予定

【会場】くまもと森都心プラザ 午後2時50分から午後6時10分まで

14:50～ 開会式

15:10～ 地方公共交通・LRTに関する事例紹介（国土交通省）

16:05～ 首長会議

18:00～ サミット宣言

■ 10月6日（土曜日）のイベント予定

【会場】くまもと森都心プラザ 午前9時30分から午後0時40分まで

9:30～ 基調講演（羽藤 英二 東京大学大学院教授）

10:00～ 記念講演（森永 卓郎 獨協大学教授・経済アナリスト）

11:00～ パネルディスカッション（松谷氏、羽藤氏、森永氏、熊本市長ほか）

12:30～ 閉会式

■ お問い合わせ先

〒860 - 8601 熊本県熊本市中央区手取本町1番1号

熊本市都市建設局交通政策総室 担当 嶋村・牟田

電話 096 - 328 - 2510 ファックス 096 - 351 - 2182

Eメール koutuseisaku@city.kumamoto.lg.jp